

インド・クラシック映画特集

7月15日[日]

放浪者

AWARA
1951年/ヒンディー語
ラージ・カプール 監督作品

7月16日[月・祝]

踊り子

UMRAO JAAN
1981年/ウルドゥー語・ヒンディー語
ムザッファル・アリー 監督作品

7月22日[日]

音楽ホール

JALSAGHAR
1958年/ベンガル語
サタジット・レイ 監督作品

8月4日[土]

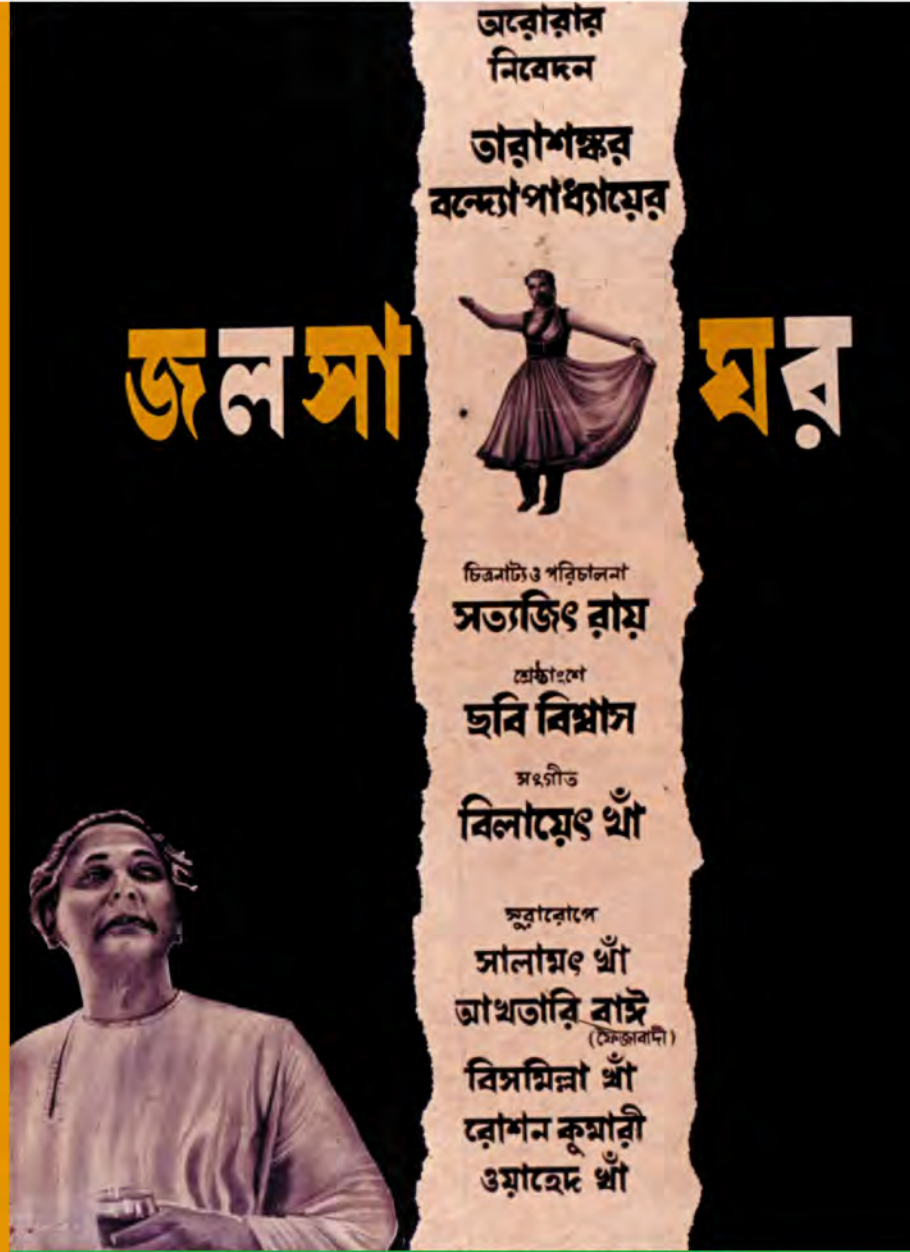
シャンカラバラナム

SANKARABHARANAM
1979年/テルグ語
K.ヴィシュワナート 監督作品

8月5日[日]

第一の敬意

MUDHAL MARIYADHAI
1985年/タミル語
バーラディラージャー 監督作品



JALSAGHAR original poster designed by Master SATYAJIT RAY / Courtesy of Society for the Preservation of Satyajit Ray Films and Ray family, Kolkata, India

時間 13:00開映(開場12:30)
場所 国立民族学博物館 講堂
参加料 無料(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)
定員 450名(先着順)
主催 国立民族学博物館
共催 在大阪・神戸インド総領事館
協力 東京国立近代美術館フィルムセンター
福岡市総合図書館



お問い合わせ 国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL. 06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00) <http://www.minpaku.ac.jp/>

インド・クラシック映画特集



2012年は日本とインドの国交が樹立されて60年、インド国産映画がはじめてつくられて100年の記念すべき年にあたります。インドは世界最大の映画生産国。国内のさまざまな言語で映画が製作されています。この記念すべき年に、国立民族学博物館では、各地の言語でつくられた古典的な名作5本を上映いたします。最近、インド映画といえば近作の娯楽作品に限られていて、古典的な名作を見る機会が少なくなっています。本特集では、映画製作当時のインド社会・文化の状況についての解説をまじえて、不朽のインド・クラシック映画の傑作を日本語字幕つきでご紹介します。

● 7月15日【日】 解説/溝上富夫(大阪外国語大学・名誉教授)

放浪者 AWARA

1951年/ヒンディー語/35mm/白黒/175分
監督/出演/ラージ・カプール 出演/ナルギス

「インド映画の王様」ラージ・カプールがプロデューサー、監督、俳優をつとめた代表作。あらぬ疑いで判事である夫に棄てられた母と、悪に手を染める息子のラージ。青年になった彼に様々な運命が待ちうける。独立を果たしたインドの将来への夢を抱かせる娯楽性と社会性を持った名作。南アジアだけでなく、中国さらにはアフリカ、中東などでも大人気を博し、ムケーシュがうたう挿入歌「流れ者だよ(アワー・フーン)」も世界的大ヒットとなった。



© R.K. Films

● 7月16日【月・祝】 解説/田森雅一(国立民族学博物館・外来研究員)

踊り子 UMRAO JAAN

1981年/ウルドゥー語・ヒンディー語/35mm/カラー/145分
監督/ムザッファル・アリー
出演/レーカー ナスィールッディーン・シャー

19世紀半ばインド北部の古都ラクナウ。幼いころに妓楼に売られ、歌や踊りの芸事に優れた売れっ子の踊り子になったウムラオ・シャーンの波乱に満ちた半生を描く。当時の風俗を再現した豪華なセットや衣裳、あでやかで気品のあるレーカーの見事な踊りなど、インド映画の名作として今も愛されている。レーカーは当時売り出しの新進女優として注目され、このころ発売された日本製サリーの宣伝にも一役買っている。



© Kotwara Studios

● 7月22日【日】 解説/サンディップ・K・タゴール(追手門学院大学・名誉教授)

音楽ホール JALSAGHAR

1958年/ベンガル語/35mm/白黒/99分
監督/サタジット・レイ
出演/チャビ・ビスワース バドマー・デーヴィー

イギリス植民地下の1920年代ベンガル地方。時代の変化に抵抗し、すべてを失ってまで、最後の栄光と威信をかけて「音楽会」を開催する没落寸前の富裕地主のすかたを描いたサタジット・レイ監督の代表作。旧地主層から新興商人への富裕層の移り変わりを美しく描いている。また当時のヒンドゥスターニー音楽の最高峰の演奏家がじっさいに出演しているので、音楽的にも注目される。



© Aurora Film Corporation Private limited.

● 8月4日【土】 解説/寺田吉孝(国立民族学博物館・教授)

シャンカラバラナム SANKARABHARANAM

1979年/テルグ語/35mm/カラー/145分
監督/K.ヴィシュワナート
出演/J.V.ソーマヤーチュル マンジュ・パールガヴィ

南インド、アーンドラ・プラデーシュ州の農村。娼婦の娘トゥルシは高名な音楽家シャンカラの歌とともに彼を一途に愛し、身を寄せる。しかし、彼女がもてシャンカラの名前は墜ちていく。南インド映画音楽界を代表するS.P.パラスプラマニムらの歌に乗せた古典舞踊クチプディ、それに南インド古典音楽など、音楽と踊りの真髄に溢れた70年代テルグ語芸道もの映画の代表作。



© Poornodaya Art Creations

● 8月5日【日】 解説/杉本良男(国立民族学博物館・教授)

第一の敬意 MUDHAL MARIYADHAI

1985年/タミル語/35mm/カラー/163分
監督/バラディラージャー
出演/シヴァージ・ガネーサン ラーダー

南インド、タミルナドゥ州の農村。村の実力者として皆に尊敬はされているが、家庭では不幸な身の上のマライチャーミーは、ある日、年も身分も違う娘を愛してしまう。タミル映画界を代表するバラディラージャー監督の代表作であるとともに、名優シヴァージ・ガネーサンの名演が光る80年代タミル映画の名作。当時のタミル農村の生活がリアルに描かれていて、社会文化を知る上でも大いに参考になる。



© Manoj Creations

時間 13:00開映(開場12:30)
場所 国立民族学博物館 講堂
参加料 無料
(ただし、本館展示をご覧になる方は観覧料が必要です。)
定員 450名(先着順)
主催 国立民族学博物館
共催 在大阪・神戸インド総領事館
協力 東京国立近代美術館フィルムセンター
福岡市総合図書館



司会・解説

杉本良男(国立民族学博物館・教授)

専門は社会人類学。南インドの文化とナショナリズムについて研究してきた。著書に「インド映画への招待状」などがある。

寺田吉孝(国立民族学博物館・教授)

専門は民族音楽学。南インド、フィリピン、アメリカ、日本などで現地調査を行っており、各種映像番組制作にも携わっている。

特別解説

溝上富夫(大阪外国語大学・名誉教授)

長年、大阪外国語大学(現大阪大学)外国語部地域文化学科でヒンディー語とインド文化などについて教鞭をとってきた。ヒンディー語による学生演劇を指導し、インドをはじめ各地を巡回するなど、日印の友好関係に尽力している。

サンディップ・K・タゴール(追手門学院大学・名誉教授)

ベンガル地方の名門タゴール家の出身で音楽家。演奏活動のほか、追手門学院大学、大阪音楽大学にて長年教鞭をとってきた。日本の短歌や俳句をベンガル語で紹介するなど日本文化にも造詣が深く、日印の文化交流に尽力している。

田森雅一(国立民族学博物館・外来研究員)

文化人類学者(インド音楽研究)。著書に「インド音楽との対話」、「幻の楽器を求めて」などがある。

交通のご案内

国立民族学博物館(みんなく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんなく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

- 大阪モノレール.....
「万博記念公園駅」下車徒歩約 15 分
「公園東口駅」下車徒歩約 15 分
- バス.....
[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約 20 分、JR 茨木駅から約 10 分「日本庭園前」下車、徒歩約 15 分
[阪急バス] (万博記念公園駅経由千里中央行き) 阪急茨木市駅から約 20 分、JR 茨木駅から約 10 分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約 5 分
- タクシー.....
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約 5 分
- 自家用車.....
駐車場が無い「みんなく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄りの「日本庭園前駐車場」から約 5 分
*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。

国立民族学博物館

国立民族学博物館 広報企画室 企画連携係
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園 10 番 1 号
Tel:06-6878-8210(土日祝を除く 9:00~17:00)
http://www.minpaku.ac.jp/

